

米沢市立病院改革プラン（案）に係るパブリック・コメントの結果

- 1 募集対象「施策の案」等の名称
米沢市立病院改革プラン（案）
- 2 募集期間
平成29年2月1日(水)～平成29年2月20日(月)
- 3 意見の提出者数及び件数
提出者数1名／提出件数9件
- 4 意見の内容及び意見に対する回答
次ページ以降に記載しています。

パブリック・コメントの結果

No.	意見（要約）	市立病院の考え方	修正の有 無
1	枠に捉われない、身の丈に合った他に例のないユニークな組織のあり方の模索	いただいたご意見は、組織を見直す際の考え方と思われまますので、具体的に組織を見直す際の参考といたします。	無
2	公の立場というぬるま湯から離脱した職員全員の意思統一した考え方	経営改善プロジェクト委員会（P7）において職員の意識改革も含めて活動しています。なお、直近の職員アンケート（回答率 76%）では、95%が「病院の経営に危機感をもっている」という結果がでております。	無
3	地域内病院との電子カルテ共有等による患者の負担軽減とコストの低減	米沢市立病院地域連携ネットワークシステム（主に市内の医療機関に画像に特化して提供）、置賜地域医療情報ネットワーク（通称：OKI-net、置賜全域）、置賜地域周産期医療情報連携モデル事業の3つのネットワークシステムを既に導入しています。	無
4	公平という観点からも未収金回収の処置及び対策を検討する必要がある。	未収金対策の強化（P6）においては、通常の督促、催告、電話対応、面接等に加えて、悪質と思われるものには、裁判、差押え、弁護士委託など法的措置も実施しておりますので、今後もそれを継続・強化してまいります。	無
5	同地域内の他病院との共存を図り、診療能力に応じた分担診療の在り方を模索する必要がある。	地域医療構想を踏まえた役割の明確化（P3）にもあるように、地域医療構想で示されている診療機能の重点化と病床機能の分化と連携を踏まえ、一般財団法人三友堂病院との連携について積極的に協議を進めてまいります。	無
6	地域内の他の診療科目との重複を避け、地域ニーズに合った科目を他と連携して設けていく必要がある。	上記5と同様と考え方で進めてまいります。	無

7	業務改善の徹底（トヨタ方式の導入）	経営改善プロジェクト委員会（P7）を中心に業務改善を徹底していくと共に、経費削減・抑制対策（P6）にもあるように、業務の効率化や職員配置の適正化等で無駄をなくすよう取り組んでまいります。	無
8	高齢者が増加する中で、病气予防の支援のために社会福祉協議会等とのタイアップの考えは早急の課題でもあるし、未来の地域医療のために全ての組織が共存していく必要がある。	いただいたご意見は、「米沢市まちづくり総合計画」等の市の健康福祉関連の計画として検討するべきものと思われまので、市立病院のプランに盛り込むことは難しいと考えております。	無
9	少子者、高齢者、障がい者、難病者、認知症者などに対する地域医療の充実を図っていく必要がある。	市立病院としては、小児病棟や訪問看護ステーション（介護保険）を設置し、障がい・難病を持った患者さんへの対応や、認知症関連の施設基準の届出を行うなど、地域に必要な医療の確保に今後とも努めてまいります。 なお、地域全体となると上記8と同様の考え方になります。	無

【その他】

「4 経営形態の見直し」、「資料1 <用語の解説>」の文章や文言を整理しました。